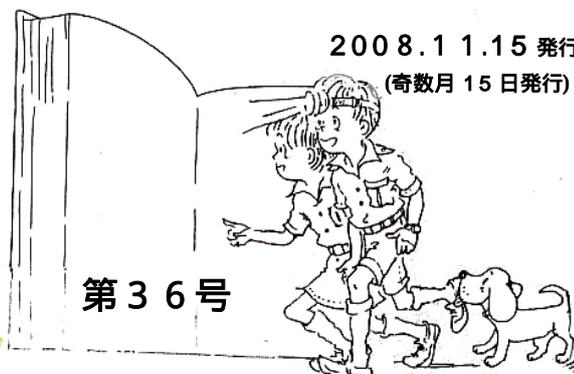


にのみやまちとしょかん 図書館だより

第 36 号



特集

カウンター業務と図書館の仕事

二宮町図書館がラディアンに移転して今年で 8 周年を迎えました。毎日たくさんの方にそれぞれの楽しみ方で利用されており、市町村別の市民(町民)一人あたりの年間貸出冊数は神奈川県下でトップクラスを保ち続けています。

今回の特集では、図書館の大きな仕事のひとつであるカウンター業務についてその内容と一日平均の統計、そしてカウンターでは直接目に触れることのない図書館を支えるその他の主な仕事についてご紹介します。

雑誌の受入は毎月約 160 冊。バーコードをつけデータを作り、付録などの装備をしてから棚に並べています。



資料管理

資料を受入れ、維持管理する仕事

受入 [装備・整理・除籍]

- 新刊・リクエスト図書 (7584 冊/年)
- 雑誌 (129 タイトル) 新聞 (15 タイトル)
- 寄贈その他図書 (1159 冊/年)
- AV 資料 (471 点/年)
- その他 官報、チラシなど

蔵書点検 (年 1 回)

書誌管理

破損本修理

事故資料処理

新聞は朝夕刊を毎日チェックし、半月毎に地下書庫へおろしています。



地域資料収集

二宮・県内に関する情報を収集・整理する仕事

地域資料受入・整理

新聞記事管理

二宮関連の記事の切り抜きなど

二宮ゆかりの人物調査

町行政資料の調査、リスト作成



広報・PR

外部へ情報を発信する仕事

図書館ホームページ更新 (随時)

図書館年報発行 (年 1 回)

図書館だより発行 (隔月)

隔月ごとに企画・執筆・編集を行っています。本の紹介欄は職員全員が順番に本を選び、記事を書いています。

カウンター関連業務以外の仕事については班分けをして担当を決め、カウンター業務の合間に各班内で分担して行っています。



カウンター

貸出・返却、調査相談を中心とした仕事

資料の貸出・返却、館内利用

(数字は一日平均) 貸出冊数・・・1316 冊

入館者数・・・1099 人

AV プール利用者数・・・26 人

予約・リクエスト受付・・・50 冊

調査相談 (レファレンス)・・・13 件

書庫出納・・・48 冊 複写・・・9 件

新規利用登録・・・6 件

その他各種申込受付

更新・パスワード発行等



配架・予約

カウンターと連携する仕事

配架、書架整理

フロアでの配架中は本の場所などを尋ねられることも多く、そのご案内も大切な仕事です。

予約連絡 (電話/メール送信)

レファレンス継続調査

他図書館間相互貸借

延滞資料の督促 (電話/葉書)

毎日約 50 件の予約連絡をしています。



総括業務

図書館運営の基盤となる仕事

図書の選書・発注

図書館協議会会議開催

運営および全域サービス事業計画

統計・調査

予算編成および執行管理

施設・備品等の維持管理

職員研修

庶務 (忘れ物処理など)

コンピュータシステム管理

定期的に会議を行い、図書館に入れる資料を選定しています。

月一回の館内研修を実施したり、県内への図書館専門研修に参加しています。

年間の入館者数は毎年 30 万人を超え、19 年度までの累計は 260 万人を突破しています。

展示は職員が毎月交代で展示テーマを考えて入替をしています。



貸出促進

資料を活用してもらうための仕事

資料展示

展示テーブル [エトワンス・児童・ティーンズ (毎月) AV (隔月)]

特設展示 (随時)

児童図書利用サービス促進

あかちゃんえほんリスト、すすめたい本リスト発行など

学校との連携

地域文庫・施設への団体貸出

25 団体 (学校・幼稚園保育園等) への貸出 (5681 冊/年)

対面朗読、録音図書作成

図書館だよりテープ版作成等



行事企画

図書館主催の行事関連の仕事

図書館主催の行事企画

おはなし会、わらべうた (毎月)

にんぎょう劇、図書館講座 (年 1 回)

リサイクル市 (隔年)

前回のリサイクル市で出した本の数は 4669 冊。随時寄贈された本を仕分けし、リサイクル市に出す準備をしています。



寄贈本が入ったコンテナの山! 蔵書の有無を全てチェックします

新しく入った本 CD DVD

2008年9~10月新着分より

(著編者 / 出版社 / 出版年月 / 請求記号)



本

画像
なし

『トールキンのガウン - 稀観本ディーラーが明かす、稀な本、稀な人々 - 』
(リック・ゲスキー/早川書房/08.4 /024.8 ゲ)
稀観(きこう)本ディーラーであり書誌学者でもある著者が、20世紀の文学の傑作 20冊の初版本にまつわる逸話を語ります。自らの体験を交え、時に辛口に披露する裏話に英米文学だけでなく古書収集への興味もわいてきます。

画像
なし

『死ぬまでに知っておきたい
人生の5つの秘密』
(ジョン・イツォ/マガジンハウス/08.8/159 イ)
長い人生を生きてきた235人の賢人たち。彼らへのインタビューから大切なものを学んだ著者が、幸福な人生を送るための5つの智恵と実生活に応用する方法を紹介してくれます。

画像
なし

『素敵にサイエンス - 研究者編 - 』
(鳥養映子・横山広美/近代科学社/08.5/407 ス)
ノーベル賞受賞で注目を浴びた理系の男性研究者達。日本ではまだその道をゆく女性研究者は少ないそうです。迷いながら将来を決めていった女性研究者からのメッセージは進路に悩む女子中高生に是非おすすめです。

画像
なし

『働く人の夢 - 33人のしごと、夢、きっかけ - 』
(日本ドリームプロジェクト/いろは出版/08.5/366.2 ハ)
笑顔で働けるきっかけに...、夢を見つけるきっかけに...、自分を知るきっかけに...。そんな思いから、建築家、通訳、ダンサーなど33人の働く人が、夢、きっかけについて語る一冊。

画像
なし

『恋のかげら』
(唯川恵ほか/幻冬舎/08.8/コイ)
OLの恋とか不倫とか、そんなありきたりな言葉にはしたくないときめきが詰まった短編集です。当代の女性作家8人が描く“恋のかげら”。どの“かげら”に心ひかれますか？

画像
なし

『内木孝一の一生使える器選び』
(内木孝一/講談社/08.8/596.9 ウ)
和食器と洋食器の違いって？和食器っていくらぐらいするの？そんな和食器の素朴な疑問から、お手入れの仕方、さらには器選びのポイントを伝授してくれます。

録音 CD

画像
なし

『seasons colours (2)』
(松任谷由実歌/148分/290 マ 2)
これからの季節にお届けしたい、ユーミンの秋冬の曲を集めたアルバムです。1973年の懐かしい曲から2006年の最近の曲まで、変わらぬ歌声が心にしみわたります。

映像 DVD (演奏者、出演者 / 収録時間 / 請求記号)

画像
なし

『下中座の相模人形芝居
(神奈川県小田原市)』
(財)東日本鉄道文化財団/31分 /380 テ 8)
小田原市小竹に、江戸時代より伝わる人形芝居。守り、大切に受け継いでいる人々の姿を地域とのふれあいとともに紹介。人形操作や特徴なども分かりやすく解説されています。



画像
なし

今月の紹介本
『ノーベル賞
おもしろ雑学事典』
(ノーベル賞研究会/ヤマハミュージックメディア/02.12/377.7 ノ)

世界最高の賞といわれるノーベル賞。11月27日はノーベル賞制定記念日です。日本人としては6年ぶりとなる受賞もあり、これから12月10日の授賞式に向けて更に話題も盛り上がる事でしょう。そんなノーベル賞に興味を持ったあなたにお薦めなのがこの一冊。

マスコミではあまり取り上げられる機会のないノーベル賞創設の事情や歴史、受賞者は勿論のこと残念ながら賞を逃してしまった人のエピソード、前年度秋頃から始まる候補者選考の過程は、50年たたないと公開しないなど、様々な“そうなんだー”とか“知らなかった”と思わず言ってしまうようなノーベル賞にまつわる内容が書かれています。これであなたもノーベル賞通？

こどものほんコーナーから おすすめの一冊

画像
なし

『おひめさまの
たんじょうび』
アニタ・ローベル作
文化出版局
'76
E 04'

両親から求められるのは“いい子でいること”だけ。体裁ばかりで愛情のない誕生日をきっかけに、おひめさまの人生が変わります。服や家具の模様、背景の人物の表情までが描き込まれた、作者の繊細さと風刺精神を感じる絵本です。

講演会を終えて

二宮町図書館講演会「二宮と坂口安吾 ～この町を往来した近代作家たち～」

10月13日(月・祝)に、二宮町図書館講演会「二宮と坂口安吾 ～この町を往来した近代作家たち～」をラディアンで開催しました。講師には、二宮町在住で中央大学名誉教授の金原左門先生をお招きしました。

講演内容は、坂口安吾をはじめ、山川方夫や島崎藤村、三好達治など、二宮町や周辺地域にゆかりのある人物たちのエピソードについてお話いただきました。特に坂口安吾については、小説『真珠』の文中にある、1941年(昭和16年)12月8日の開戦日に二宮の魚屋を訪れたときの様子や、一時期住んだ小田原での画乱堂(ペンキ屋)との交流について等を、現在の二宮や小田原の様子を交え



講演中の講師金原左門氏

てお話されました。参加者の皆さんは、先生のユーモアを交えたお話を熱心に聞かれ、またメモを取られていました。

募集開始当初から多くの申し込みや問い合わせがあり、当日の会場はほぼ満席となりました。またアンケート結果では、「雑談調で親しみやすい講演でよかった」、「より(坂口)安吾のことを知ることが出来た」などの感想をいただきました。

ベストオーダー
2008年9月～10月
この期間に予約が多かった本です

【一般書 ベスト10】

- 1 告白 / 湊かなえ
- 2 おそろし / 宮部みゆき
- 3 流星の絆 / 東野圭吾
- 4 夢をかなえるゾウ / 水野敬也
- 5 容疑者Xの献身 / 東野圭吾
- 6 16歳の教科書 / モーニング 編集部ほか
- 7 黒の狩人 上・下 / 大沢在昌
- 8 チーム・バチスタの栄光 / 海堂尊
- 9 訣別の森 / 末浦広海
- 10 おひとりさまの老後 / 上野千鶴子

ごたごたの語源

ふう～ん

鎌倉時代に中国の兀庵普寧という僧侶が北条時頼に招かれて来日した。彼の性格は理屈っぽく、単純な話をしても話がこんがらってしまう。そんな様子を「兀庵兀庵する」というようになり、いつしか転訛して混乱することやもめることを「ごたごたする」というようになったとか。

二宮ゆかりの人物

さとみ とん
里見 淳 (作家)

二ノ宮を通過して郵便局、下駄屋、姿のいい松(自動車では旧上野別荘のあの龍の如き若松は見えず)コンクリの橋、お祭に市のやうなものが立ったY字形の道路、あのそばの神社などずっと見詰めてある目に涙がもりあがって来た。

(『月明の径 - 淳・良こころの雁書』昭和20年6月28日付 淳の手紙より)

里見淳(1888～1983 本名:山内英夫^{やまのうち})は、明治43年に武者小路実篤や志賀直哉らが創刊した雑誌「白樺」に当初から参加し、大正昭和にかけて活躍した作家です。有島武郎^{ありしまたけお}(作家)と有島生馬^{いくま}(洋画家、作家)という二人の兄と共に有島芸術三兄弟と称され、代表作に自伝的小説『善心悪心』や長編小説『極楽とんぼ』などがあります。長く鎌倉に住み、戦争末期には久米正雄、川端康成ら鎌倉在住の作家達とともに鎌倉文庫をおこしました。晩年まで現役で活躍し、1983年に94歳で肺炎で亡くなったときの新聞には「大往生最後の白樺派」と大作家の死を惜しむ記事が掲載されています。

そんな淳と二宮とのゆかりが、冒頭引用の『月明の径』の一節にみられます。『月明の径』は、淳と芸者の菊龍^{きくりゅう}(通称良^{りょう})との間で交わされた書簡集です。疎開のため二人が離れて暮らしていた時期(昭和20年5月11日～昭和21年10月27日)の書簡が収められており、引用部は淳から良に宛てたものです。淳と良とは固く結ばれており、関東大震災後には淳が仕事場として使っていた家に良が同居するようになりました。引用文中の「旧上野の別荘」とは、梅沢にあった上野十蔵(中外製薬創業者)の別荘のことで、

上野の妻梅が良の妹であった事から淳はこの二宮の別荘をしばしば借りて、良と共に過ごしていました。引用部では国道1号線沿いの梅沢近辺の当時の様子が詳しく描写され、別荘で良と共に過ごした日々をなつかしく思い出している内容となっています。

この別荘には志賀直哉ら作家仲間が訪ねていたようで、志賀直哉の年譜中昭和14年11月16日の記述には「一時三分の汽車で二ノ宮に里見を訪ね、一泊」とあります。淳を訪ねた志賀が家族に書き送った葉書には「二ノ宮も静かでのどかで大変いい家」との記述もあります。また、県立神奈川近代文学館には、淳が作家小島政二郎^{まさじろう}宛に二宮から出した葉書も保存されています。



「コンクリの橋」(吾妻橋)



「Y字形の道路」(吾妻神社入口付近)

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

参考資料 『月明の径 淳・良こころの雁書』(里見淳著/文芸春秋/1981/NY 外) 『志賀直哉全集』第11、12、14巻(志賀直哉著/岩波書店/1974/918.6頁) 『八十年の散歩』(山内静夫著/冬花社/2007/914頁)

お知らせ・お願い

特別館内整理（蔵書点検）が終了しました

休館中はご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

神奈川近代文学館で展示会が開催されます

神奈川新聞に連載中の「かながわ図書館めぐり 自慢のこの1点」に紹介された所蔵品の展示会です。県図書館協会の80周年を記念して11月29日から来年1月18日まで開かれます。9月29日に掲載された二宮町図書館の特別コレクションも展示される予定です。詳細は館内ポスターをご覧ください。

年末年始休館のお知らせ

12月28日(日)～1月6日(火)まで休館いたします。

休館中の返却ポストへの返却はご遠慮ください。

利用者の声 Q&A

Q: 自宅にいないことが多く、予約の資料が用意できたという電話連絡をなかなか受け取れません。

他に連絡方法はありますか？

A: 予約資料の連絡方法は、電話か電子メールを選ぶことができます。

電子メールを希望される場合は、パスワード発行後メールアドレスを登録してください。予約の際に連絡方法を選択できるようになります。

登録するメールアドレスは携帯電話のものでも大丈夫です。

行事

くわしくはお問い合わせください。

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月

休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月

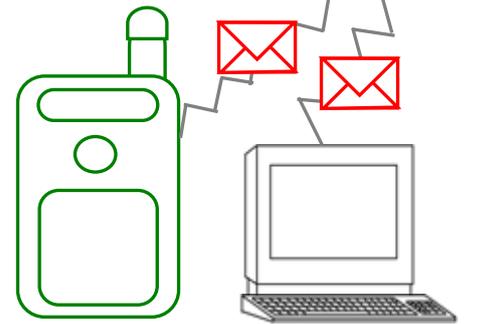
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月6日(火)・12日(月)は特別休館です。

-  ちいちゃいおはなし会
第2水曜日(1月は第1水曜日)
-  おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とおりがみあそび
第3土曜日
-  わらべうたであそぼう!
第3金曜日
-  雑誌のリサイクルコーナー
第4日曜日(12月は第3日曜日)

予約の連絡はメールが便利!

パスワード・メールアドレスの登録を!



携帯 インターネット

ひとつだけ ~ 編集後記にかえて

小学校低学年向けの今年の課題図書になった長谷川義史さんの『ぼくがラーメンたべてるとき』を何気なく手にしました。

ぼくがラーメンをたべてるとき世界ではいろいろなことがおきている。同じ風がふき同じ空気をすっている世界のどこかで、同じような子供達が、どんな状況に置かれているのか.....淡々と何かを伝えてくれます。

久しぶりに心に深くしみわたった一冊でした。大人にも是非読んでもらいたい絵本です。

2008年も残すところあと少し。今年も平和に過ごせたことを心から感謝したいと思います。

展示テーマ

10月 | 一般 / 『夢にむかって』
児童 / 『れっしゃとばすにのって』
A V / 『夢』

11月 | 一般 / 『めざせ!? ノーベル賞』
児童 / 『まいにちおせわになっています』

特設展示

9~10月・・・『小島直記さんをしのんで』

10~11月・・・『どの本を読む? この本を読む!』

地域資料コーナー 展示ケース

10~12月・・・『二宮ゆかりの人物 古田 晁』

1~3月・・・『二宮ゆかりの人物 吉田五十八』

書庫の本紹介コーナー

10~12月・・・『芥川賞候補作品 ~1995年』

1~3月・・・『江戸川乱歩賞の女流作家たち』

編集・発行 二宮町図書館
住所 二宮町二宮1240-10
☎ 0463-72-6913

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

 図書館だよりテーブ版もあります! お問い合わせください。

